

レポートに寄せられた御意見・御感想

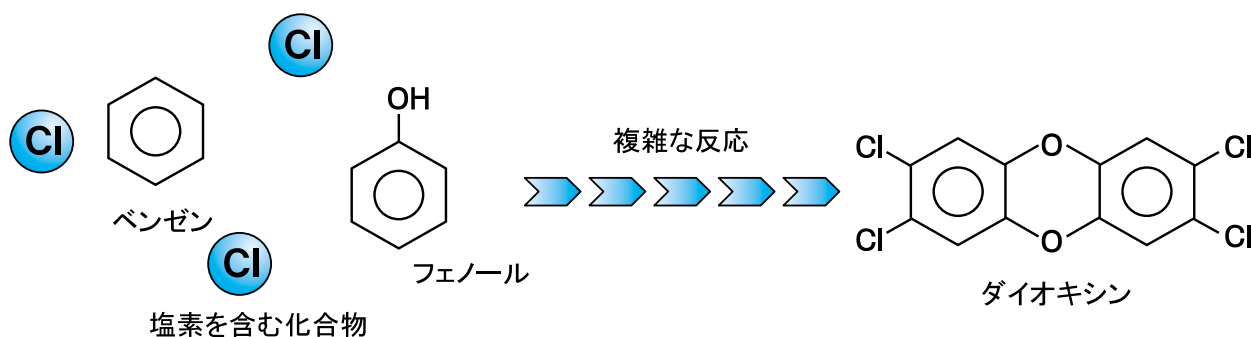
これまでに、県民の皆様から多数の御意見、御感想をいただき、ありがとうございました。以下に、御意見と御質問の一部を紹介いたします。皆様からいただいた御意見等は、毎回のレポート作成に反映させていただきます。

○御質問

Q ダイオキシンはどのようなメカニズムで発生するのですか。

A ダイオキシンは、ものを燃やしたときに発生することは知られていますが、燃焼によるダイオキシンの発生メカニズムは非常に複雑で、詳しい発生プロセスはわかっていません。完全燃焼すれば、有機物は水と二酸化炭素になりダイオキシンは発生しないので、できるだけ完全燃焼に近い状態で燃焼させるように、ごみ等の焼却については法律でガイドラインが定められています。（例えば、温度は800℃以上。）この条件で燃焼されていない場合に、ベンゼン、フェノール等のダイオキシンの前駆体が生成し、それらが複雑に化学反応を起こしてダイオキシンが生成します。また、排ガスを処理する工程（煙道や集塵機の中）において、ある条件でダイオキシンが生成することもわかっています。

燃焼以外にも、前の章で述べたような半田付け工程や、化学合成のときの副生成物として、ダイオキシンが生成することもあります。



○御意見・御感想

- ダイオキシンの発生メカニズムは焼却施設であるとして、その対処法を述べているが、焼却灰を持ち込む処分場に生じる有害物質関係に触れていない点は時代錯誤に陥ってはいないか。効率的な環境行政手腕を望む。（60歳代、主婦）
- 発生源の70%が廃棄物の焼却によるものであることは分かるが、これは総論のため具体的な行動に結びつかないと思う。廃棄物中のダイオキシンの発生量の多い品名を公表してほしい。（50歳代、企業環境担当）
- 廃棄物の発生抑制は業者の自主管理では進まない。焼却炉で発生するのだから焼却量を減らすことを考えるべきだ。技術による対策はごみをいくら出しても構わないと思わせる。（40歳代、NGO関連）
- この現状をよく認識し、発生源の対策に活かすべきであると思う。（60歳代、県内在住）
- 環境悪化が少しずつでも進んでいることにおそれを感じる。（60歳代、県内在住）
- パンプの内容が暖かい。市民活動などの紹介もあり、行政と市民で一緒に環境を良くしていこうという雰囲気を感じられた。（30歳代、主婦）

今後とも、いただいた御意見等を反映し、よりよいレポートを作っていくと考えておりますので、御意見、御感想や御質問をお寄せください。

お手数ですが、別紙アンケート用紙に御記入のうえ、FAX等でお送りください。また電子メールでも結構です。（メールアドレス：kagaku1.170@pref.kanagawa.jp）